

転写因子Nrf1による生体恒常性維持機構の解明

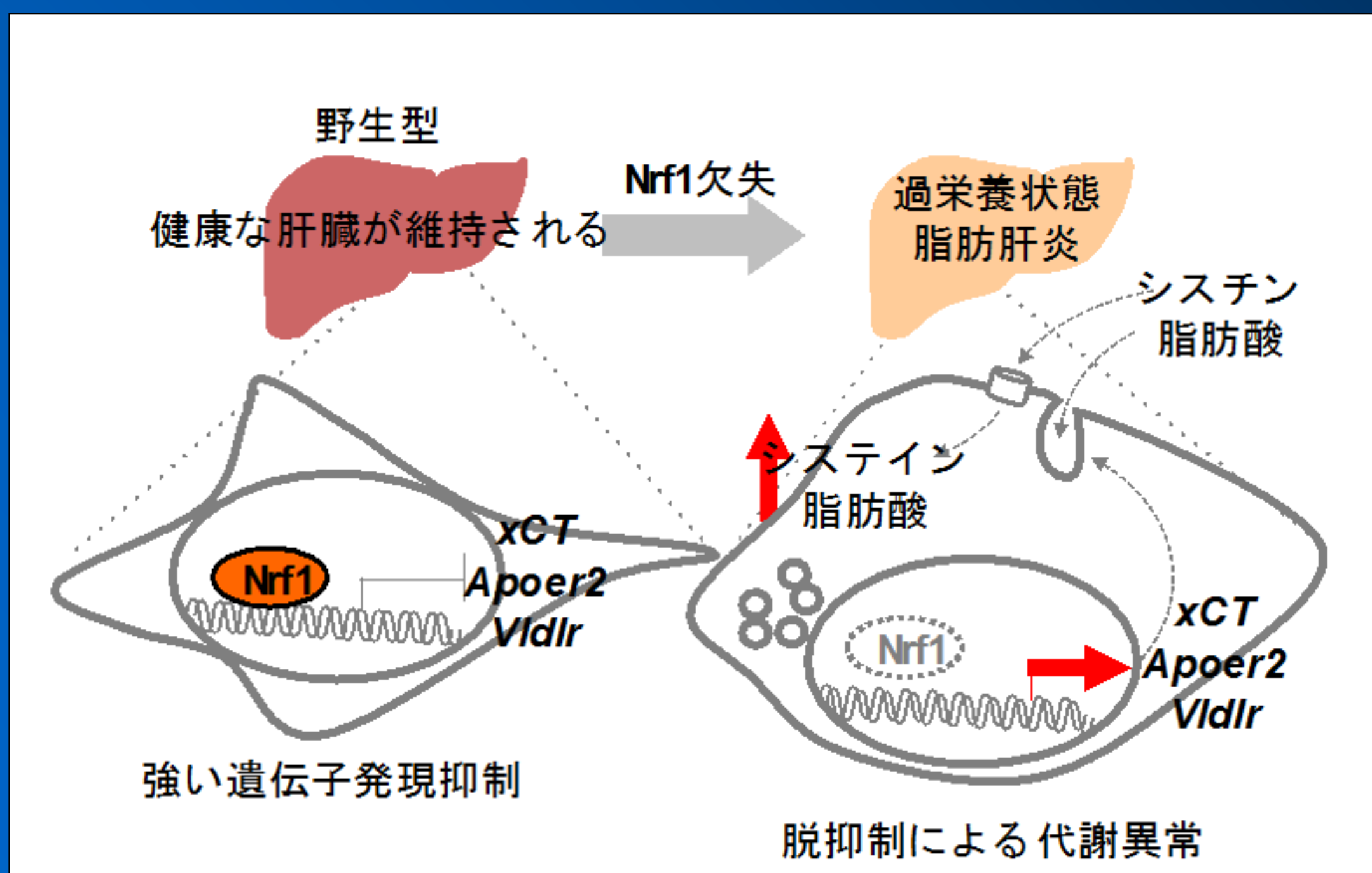
辻田忠志 講師
佐賀大学農学部生化学分野

(世話人: 水沼 正樹 准教授
大学院先端物質科学研究科
分子生命機能科学専攻)

《概要》

Nrf1はCNC-bZipファミリーに属する転写因子であり、抗酸化応答配列(ARE)に結合することで遺伝子を発現調節する。肝特異的欠失マウスでは脂肪肝炎を示し、中枢神経系特異的Nrf1欠失マウスは進行性の運動失調を示す。しかし、明確な表現形に反して、原因となるNrf1標的遺伝子が同定できていなかった。

私たちは、Nrf1を調節する化合物の探索や遺伝子改変マウスの再解析を通して、Nrf1の生体恒常性維持機構について明らかにしてきたので紹介する。



※本セミナーは5研究科共同セミナーです。

開催日時: 平成30年7月31日(火) 15:00-16:00

会場: 広島大学先端科学総合研究棟 3F 302S会議室

お問い合わせ先

水沼 正樹: E-mail mmizu49120@hiroshima-u.ac.jp TEL 082-424-7765